

「鹿児島黒牛」を支える種雄牛の造成

各種検定及びDNA解析等の実施により、「益華明(ますはなあき)」号を造成

背景・目的

- ・本県肉用牛の産肉能力の向上, 銘柄確立及び肉用牛経営の安定が必要
- ・各種検定及び遺伝子(DNA)解析等の実施により, 遺伝能力の優れた種雄牛を造成・選抜

成果の内容

- ・遺伝的能力に優れ, 産子の発育及び枝肉成績も良好

「益華明」号



【血統】 益華福—百合茂—金幸
【間接後代検定成績】
・枝肉重量 525.5kg
・ロース芯面積 70cm²
・脂肪交雑 BMS No.9.4(県歴代1位)
【交配対象】 但馬系母体, 気高系母体

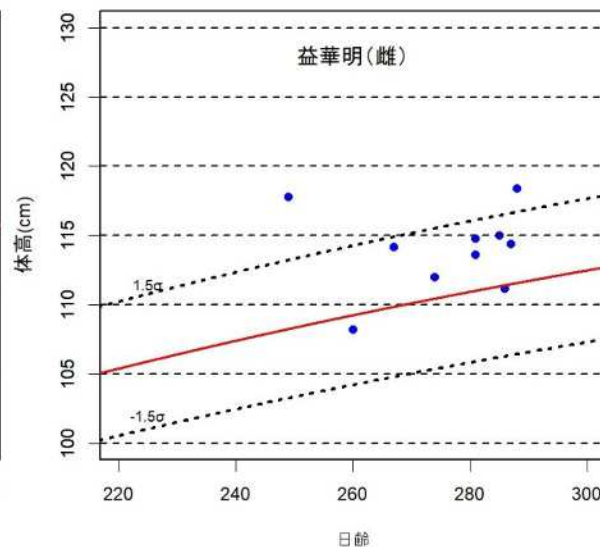
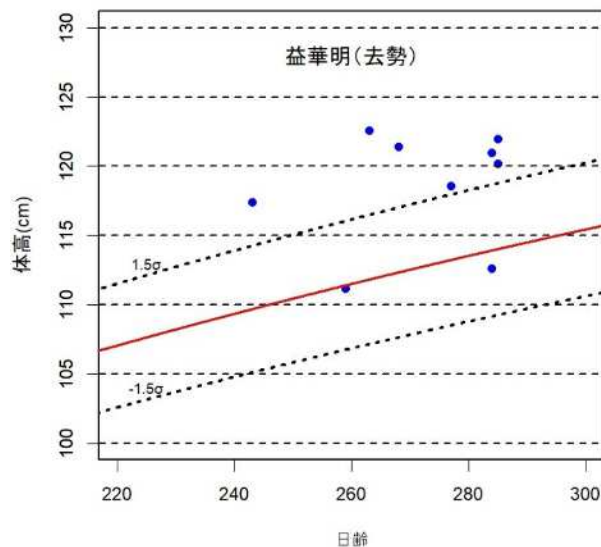
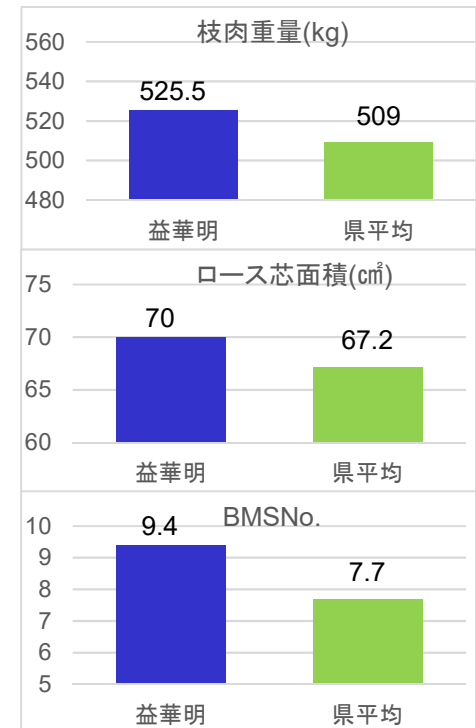


図 「益華明」号検定交配産子の発育(実線:発育基準, 点線:上限・下限)

期待される効果

本県肉用牛の産肉能力向上



※県平均は日本食肉格付協会格付数値, R3年度

○普及対象・範囲 県内肉用牛飼養者